

## 岐阜高専、リール A 技術短期大学インターンシップ修了式を挙行

岐阜高専（伊藤義人校長）は、平成 29 年 6 月 27 日に、約 3 か月にわたって受入れたリール A 技術短期大学（IUT A Lille）の短期留学生 2 名のインターンシップ修了式を行った。

同校は、平成 25 年度から毎年、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の支援を受け短期留学生の双方向交流（派遣・受入）を実施している。平成 28 年 2 月 2 日には新たにリール A 技術短期大学と学術交流協定を締結し、この協定に基づき、初めて受け入れた。電気情報工学科の田島研究室と柴田研究室に学生を配属し、スマートフォンを活用した景観の経年変化の調査・分析システムの研究・開発や、名古屋大学の小型の核融合実験装置における内部プラズマ計測の実施に取り組んだ。また、研究活動以外にも、茶道などや毎週行っている外国語トークカフェにおいて書道やゲームなどを通じて本校の学生との交流を深めることができた。

この双方向協定型の短期交換プログラムは、JASSO の短期研修・研究型の受入れ支援により初めて可能となり、岐阜高専学生・教員の国際化・グローバル人材育成に大いに寄与している。

修了式では、羽渕国際交流室長らの立会いの下に、伊藤校長から学生に修了証書が手渡された。



リール A 技術短期大学生 2 名と伊藤校長(中央)、羽渕国際交流室長(右端)らとのインターンシップ修了式後の記念写真